

## 6 阪神高速道路大和川線事業の推進について

【提案・要望先】 国土交通省

堺市国土強靱化地域計画取組事業

～提案・要望事項～

○本市の臨海部をはじめ、関西都市圏の社会経済活動に大きく寄与する阪神高速道路大和川線の整備に必要な財源を確保すること。

【現状と課題】

○阪神高速道路大和川線は、都市再生プロジェクトに位置づけられている「大阪都心部における新たな環状道路」の一部を担う道路であり、大阪南部地域における高速道路の利便性の向上や東西方向一般道の交通混雑が大幅に緩和されることから、本市臨海部をはじめとする地域にストック効果をもたらし、関西都市圏の社会経済活動の活性化に大きく寄与するもの。

○平成31年度末（2019年度末）の大和川線全線の供用開始のために必要となる財源の確保と本市の負担軽減のための制度運用の継続が不可欠。

【本市での取組内容】

### 大和川線の整備概要

堺市・大阪府・阪神高速道路株式会社の三者共同で事業を推進



### 大和川線の整備効果



#### ①大阪都心部における新たな環状道路の整備

関西都市圏の社会経済活動を活性化

高速道路利用の利便性を向上

一般道の交通混雑を緩和

## ②堺市臨海部における道路ストック効果



## ③防災機能の向上効果



## 大和川線の事業進捗

- 堺市事業区間の進捗率 85% (平成29年度末(2017年度末))
- 平成31年度末(2019年度末)の大和川線全線の供用開始のために必要となる工事を着実に完成させる必要がある。

|                | 平成29年度                       | 平成30年度                       | 平成31年度      |
|----------------|------------------------------|------------------------------|-------------|
| 国庫補助額<br>(要望額) | 4,875,951千円<br>(6,400,050千円) | 3,594,655千円<br>(4,067,000千円) | 3,400,000千円 |

平成31年度の全線供用に絶対必要となる額

平成31年度(2019年度)の全線供用を実現し、**ストック効果**や国土強靱化に寄与する**防災機能の向上**をはじめとする整備効果を早期に発現するため、大規模工事の完成に必要な費用の確保が必要！

このほか、

- 大和川の治水安全度の向上を図るため、大和川高規格堤防整備事業及び土地地区画整理事業等との一体整備に必要な財源確保を要望(詳細はP. 25)
- 大和川沿川におけるまちづくりと一体となった魅力向上のため、自転車通行空間確保を要望(詳細はP. 29)

## 【本件に関する連絡先】

建設局 大和川線推進室次長 影山 誠 (TEL:072-228-8435)